

支部 Newsletter

北海道支部

◎ 道南ブロック企画事業（報告）

6月10日（土）、平成29年度函館英語英学会特別講演『メトニミーと文法』（講師：柴谷方良氏）が北海道教育大学函館校で開催され、本支部道南ブロックは後援を務めました。また、11月11日（土）、平成29年度函館英語英学会研究発表会が北海道教育大学函館校で開催され、本支部道南ブロックは共催を務めました。

◎ 道北東ブロック企画事業（報告）

8月18日（金）、一般公開講演会『生成文法における妥当性とその帰結』（講師：菅野悟氏）が北海道教育大学旭川校で開催され、本支部道北東ブロックは共催を務めました。

◎ 第62回大会の開催（報告）

10月28日（土）、本支部第62回大会が、道央ブロックの北海学園大学豊平キャンパスにおいて開催されました。参加者は69名。今大会は4件の研究発表をはじめとして、文学部門特別講演「ドライサー文学とリンチ」、語学部門特別講演「5文型は学習上役に立たない」、語学部門セミナー「認知言語学から見た文法化」、文学部門シンポジウム「21世紀におけるジャック・ロンドンの新たな魅力とは」（日本アメリカ文学会北海道支部共催）、語学部門シンポジウム「所有表現に関する諸問題—各理論的枠組みを用いて—」が行われ、充実したプログラムとなりました。

◎ 理事会および総会について（報告）

支部大会当日に開催された理事会では、議題6点と報告4点がありました。支部の活動方針や会計状況等について議論・承認された後、2018年度の支部大会開催校が提案され、承認されました。また、総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催校の報告がなされました。

◎ 『北海道英語英文学』第63号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第63号に掲載する原稿を募集しています。締切は2018年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第62号（『英文学研究 支部統合号』第10巻）の巻末または支部ホームページをご覧ください。

◎ 第63回支部大会について

2018年度支部大会は、道南ブロックの北海道教育大学函館校（函館市）での開催に決定しました。日程は確定し次第、支部ホームページにてご案内致します。

◎ 2018年度の事務局について

2018年度の事務局は以下の通りです。

〒066-8655 千歳市美々 758 番地 65

千歳科学技術大学 理工学部 金井彩香研究室内

[TEL/ FAX] 0123-27-6026

[メールアドレス] hokkaido@elsj.org

[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

◎ 会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

（文責 金井彩香）

東北支部

◎ 第72回支部大会開催報告

第72回東北支部大会が、2017年12月2日（土）、東北大学川内南キャンパス文科系総合講義棟で開催されました。当日は多少肌寒いながらも好天に恵まれ、参加者はおよそ80名を数えました。大会では13件の研究発表および3件のシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が展開されました。また懇親会も賑やか

な雰囲気の中、盛会のうちに終了しました。

大会準備から運営に至るまでご尽力くださった開催校の先生方および学生スタッフの皆様、研究発表された皆様、司会、シンポジウム講師を務められた皆様、そして当日参加された会員の皆様、出版社の皆様にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

詳細は、東北支部ホームページ (<http://www.elsj.org/tohoku/>) からご覧いただけます。

◎ 東北支部研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。次回の締切は2018年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロードのうえ、事務局 (tohoku@elsj.org) 宛にご応募ください。

◎ 『東北英文学研究』第8号発行および第9号原稿募集

『東北英文学研究』第8号が『英文学研究支部統合号』第10号に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第9号の原稿を募集しています。締切は2018年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧ください。事務局 (tohoku@elsj.org) 宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責 竹森徹士)

関東支部

◎ 関東支部第15回大会(2017年度秋季大会)報告

日本英文学会関東支部第15回大会(2017年度秋季大会)は、2017年10月28日(土)、中央大学後楽園キャンパスにて開催されました。研究発表3本、シンポジウム3つ、さらにアメリカから招聘したD.A. Miller氏(John F. Hotchkis Professor Emeritus and Professor of the Graduate School, University of California, Berkeley)による特別講演という充実した内容で、のべ164名もの会員にご

参加いただきました。開催校の皆様、および大会準備委員の皆様のご尽力に感謝いたします。

◎ 関東支部第16回大会について

2018年5月19日(土)と20日(日)に、日本英文学会の全国大会が東京女子大学で開催されます。このため、2018年度には関東支部の夏季大会を開催致しません。関東支部第16回大会は、2018年の秋(10月～11月)に開催する予定です。研究発表の応募締切は2018年6月30日となる見込みです。詳細については、2018年2月にホームページ、メールマガジン等でお知らせします。

◎ 『関東英文学研究』第11号について

『関東英文学研究』第11号への投稿を募集しております。締切は2018年5月15日(必着)です。まだまだ間に合いますので、ふるってご投稿ください。投稿規定につきましては、日本英文学会関東支部のホームページ、および『関東英文学研究』第10号の巻末をご覧ください。

◎ 理事会報告

2017年10月28日(土)に、中央大学後楽園キャンパスにおいて2017年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(2018年度全国大会など)
2. 大会準備委員会報告(2018年度秋季大会、委員の交代など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第10号、委員の交代など)
4. 事務局報告(2016年度会計監査、講師派遣事業など)
5. 支部理事選挙の改革について(Web投票の検討など)
6. 2018年度全国大会における関東支部企画
7. 支部会員以外の講師への謝金について
8. 関東支部事務局の給与体系の見直しについて
9. 関東支部出版助成の規定について

◎ 編集委員会報告

2017年9月9日(土)に、立正大学品川キャンパスにおいて2017年度第3回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2017年度優秀論文賞・若手奨励賞について
該当論文なしと確認。
2. 懇話論文査読報告・判定
3. 懇話論文の名称変更
来年度以降「特別寄稿論文」に名称変更。
4. 2017年度再提出論文査読報告、判定
5. 特別寄稿論文についての申し合わせ
6. 2018年度特別寄稿論文の依頼
7. 編集内規改定
8. 2018年度の後任委員

以下の人事を承認(敬称略:以下同様)

イギリス文学

福西由実子(中央大学)→井川ちとせ(一橋大学)

向井秀忠(フェリス女学院大学)→小川公代(上智大学)

中和彩子(法政大学)→猪熊恵子(東京医科歯科大学)

秦 邦生(青山学院大学)→麻生えりか(青山学院大学)

アメリカ文学

中野学而(中央大学)→深瀬有希子(実践女子大学)

佐久間みかよ(和洋女子大学)→竹内美佳子(慶應義塾大学)

英語学・英語教育

深谷素子(鶴見大学)→石黒太郎(明治大学)

2. 2018年度の後任委員

以下の人事を承認

田中裕介(青山学院大学)→田代尚路(大妻女子大学)

富樫 剛(フェリス女学院大学)→岩永弘人(東京農業大学)

平賀優子(東京大学(非))→久世恭子(上野学園大学)

松田智穂子(専修大学)→佐藤里野(東洋大学)

3. 今後の大会企画担当

4. 2018年度秋季大会

5. 今後の予定

6. 関東支部大会における謝金・交通費・宿泊費に関する内規の策定

◎ 事務局よりご連絡

1. 上に述べたとおり、2018年度の夏季(6月)には関東支部大会がありません。研究発表の応募を考えている方はご注意ください。

2. 2018年度には、関東支部理事選挙がおこなわれます。理事会では、Web投票の実施など、選挙方式の改革を検討中です。次回選挙の規定については、後日ホームページ、メールマガジン等でお知らせします。

3. 『関東英文学研究』第10号には、5本の投稿論文が寄せられ、そのうち2本が掲載されました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。若手の方でも、積極的にご投稿ください。また、懇話論文は次号から「特別寄稿論文」と名称を変更します。特別寄稿論文とは、本学会誌への掲載にふさわしく、また特に若手研究者の模範として推奨すべき論文の執筆が期待できる研究者に編集委員会から執筆を依頼するものです。ただし、特別寄稿論文の査読も通常の投稿論文と同様におこない、最終的な掲載については編集委員会が判断します。

4. 2017年8月25日(金)に、岡山市立

◎ 大会準備委員会報告

2017年10月28日(土)に、中央大学後楽園キャンパスにおいて2017年度第3回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2018年度副委員長(2019年度委員長)
冬木ひろみ(早稲田大学)が2018年度副委員長に選出された。
なお、2018年度委員長は倉林秀男(杏林大学)。

市民文化ホールにて、岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講座講演会「学問の魅力——英語文体論入門」が開催されました。講師は東京大学大学院教育学研究科の斎藤兆史教授（関東支部理事）です。本講演会は関東支部の講師派遣事業の一環としておこなわれました。関東支部では、中学校、高等学校を対象に、支部会員を英米文学／英米文化に関する講演や授業に講師として派遣しています。講演料は関東支部の基金から支出します。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、教育委員会関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局（kanto@elsj.org）までご連絡ください。詳しくは、支部ホームページの「講師派遣事業」のページをご参照ください。（文責 武田将明）

中部支部

◎ 第 69 回支部大会報告

2017年10月28日に第69回支部大会が福井大学文京キャンパスにて開催されました。台風の接近も危ぶまれましたが、出席者はおよそ70名を数え、3件のシンポジウム、11件の研究発表において、知的刺激に満ちた熱心なやりとりが行われ、懇親会も和やかな雰囲気の中に無事閉幕しました。大会の運営にご尽力いただいた開催校関係者の皆様、シンポジウム講師、発表者、司会者の皆様、当日参加された会員の皆様、協賛いただいた出版社の皆様にはあらためてお礼申し上げます。

講師、発表者の方々には9月に刊行されますプロシーディングズへのご投稿の権利がございます。詳細につきましては4月初め頃にご連絡の予定です。また、ご発表を元に論文に発展させ、『中部英文学』へのご投稿を検討していただければ、尚幸いです。

◎ 支部総会報告

支部大会に先立ち、当日支部総会が開催され、以下の議題が報告もしくは提案され、了承されました。なお、総会資料・議事録につきましては支部ウェブサイトに掲載されました。

1. この一年の活動報告
2. 前年度会計決算報告
3. 今年度予算案
4. 次年度以降事務局担当校ならびに支部大会開催校について

◎ 新年度役員

この3月をもって、現事務局は退任し、2018年4月から三重大学が事務局担当校となります。任期は2年間で、役員は次の通りです（敬称略）。

支部長：宮地信弘（三重大学）
副支部長：鈴木達也（南山大学）
事務局長：小田敦子（三重大学）
事務局長補佐：野田 明（三重大学）
書記：西村秀夫（三重大学）
監事：中川直志（中京大学）

また、理事は現員の17名に小田氏を加えた18名となります。

◎ 『中部英文学』 第 38 号投稿募集

『中部英文学』第38号投稿の締切は4月10日（火）必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読・厳守の上、奮ってご応募ください。

◎ 第 70 回支部大会発表募集

第70回支部大会は10月27日（土）、愛知学院大学名城キャンパスにて開催されます。研究発表応募締切は5月31日（木）必着です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

◎ 会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は速やかにご連絡ください。郵便物や電子メールが届かないケースが起っています。まだメールアドレスを登録されていない方はぜひご登録をお願いいたします。いずれの場合も、日本英文学会本部と中部支部の両事務局にお届けくださいますようお願いいたします。

（文責 丸山 修）

関西支部

◎ 関西支部第 12 回大会について

2017年12月17日(日)11:00より、関西支部第12回大会が京都女子大学にて開催され、4件の招待発表を含む21件の研究発表と、英米文学および英語学のシンポジウムが行われました。天候にも恵まれて192名の参加者を数え、懇親会にも88名の出席者を得て盛会裏に終わりました。

大会準備にご尽力くださった学会関係者の皆様、および会場を提供くださった京都女子大学関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

◎ 役員会および総会について

大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、支部長から「学会・研究会・講演会の開催情報」コーナーをHPに新設、会員の情報交換、交流の活性化につなげたいと説明がありました(詳細はHPをご覧ください)。会員のみならず、研究会や講演会に関する情報がありましたら、是非事務局宛お寄せ下さい)。またトラベル・グラントに一名応募があり、規定にしがたい理事会メール審議をへて決定した旨報告がありました。大会準備委員長と機関誌編集委員長からそれぞれ事業報告があり、編集委員長からは、投稿規定第2項に新たに「一名の会員が第一著者として投稿できるのは、一号につき一本に限ることとする。」の一文を加えた旨説明がありました。会計報告案が承認され、第13回大会の開催校に神戸女学院大学が選出されました。また、総会では以上の件について報告がなされました。

◎ 機関誌第 12 号の投稿について

『関西英文学研究』第12号の投稿締切は4月末日です。なお、修士号取得7年以内の関西支部会員ならびに準会員による優れた論文には奨励賞(この賞を受賞していない者)が与えられます。奮ってご投稿ください。

◎ 関西支部第 13 回大会の研究発表の応募について

関西支部第13回大会は、2018年12月8日に神戸女学院大学で開催される予定です。研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

◎ 関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

(文責 難波江仁美)

中国四国支部

◎ 中国四国支部第 70 回大会報告

2017年10月28日(土)、29日(日)の両日、就実大学(岡山市)において中国四国支部第70回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。渡辺浩氏、和栗了氏、長瀬恵美氏をはじめとする開催校の関係者および岡山県の学会員の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(28日)は、吉中孝志支部長による開会の辞をもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係3編、イギリス文学関係8編、アメリカ文学関係4編、英語教育関係1編の計16編が行われました。特にイギリス文学関係として、今年度はジョイス研究の4編による1室が設けられました。また、伊藤詔子氏(広島大学名誉教授)による招待発表「オバマのヒロシマスピーチと21世紀の女性環境作家たち一核の物語の共有」(司会:広島大学准教授 城戸光世氏)が行われました。特別講演は、浜崎洋介氏(文芸批評家)による「近代日本における「個人」の可能性—D・

H・ロレンスから福田恆存へ」(司会：広島大学准教授 倉田賢一氏)がありました。特別講演の後、就実大学カフェテリアにて和栗了氏の司会のもと、懇親会を催すことができました。多数のご参加どうもありがとうございました。

第2日目(29日)は、広島大学教授の小野章氏(司会)の主導のもと、寺西雅之氏(兵庫県立大学教授)、西原貴之氏(広島大学准教授)、脇本恭子氏(岡山大学教授)、今林修氏(広島大学教授)によるシンポジウム「英語教育と文学」がありました。次に、第70回記念講演会としてJohn Wells氏(Professor Emeritus, University College London)による講演「Choosing the right intonation pattern」(司会：広島大学教授 今林修氏)が行われました。そのあと、高口圭輔副支部長の閉式の辞をもちまして全日程を終了しました。

◎ 理事会報告

支部第70回大会に先立ち、10月28日午前中の理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 理事の追加

学会誌編集委員長の中川憲氏(安田女子大学)を、職権により支部理事として追加することが提案され、承認されました。

2. 会計報告および会計監査報告

倉田賢一事務局長補佐が2016年度決算報告(支部事務局と編集委員会)を行い、会計監査(水野和穂氏、福元広二氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

3. 次期開催校

2018年度の第71回大会は、10月27日(土)・28日(日)に、鳥取大学(開催校責任者：福安勝則氏)で開催されることが承認されました。

4. 2019年度全国大会

日本英文学会第91回全国大会の開催が中国四国支部担当となることを受け、2019年5月25日(土)・26日(日)に、安田女子大学(広島市)で開催されることが提案され、承認されました。ま

た、大会準備担当書記、開催校代表委員、開催支部委員代表については、以下の通り承認されました。

- ・大会準備担当書記：西原貴之氏(広島大学)
- ・開催校委員代表：高口圭輔氏(安田女子大学)
- ・開催支部委員代表：吉中孝志氏(広島大学)

5. 学会誌編集委員の交代

任期満了に伴う編集委員の交代が、以下の通り提案され、承認されました(後日承認分を含む)。

- ・中川憲委員長の後任：松浦雄二氏(鳥根県立大学、英文学)
- ・大野英志委員の後任：上利 学氏(広島文教女子大学、英語学)
- ・谷岡知美委員の後任：島 克也氏(安田女子大学、米文学)
- ・小野 章委員の後任：杉村 藍氏(岡山県立大学、英文学)
- ・松浦雄二委員の後任：富樫 剛氏(フェリス女学院大学、英文学)

6. 理事選挙方式の変更

次回以降の支部理事選挙について、経費や手間を削減するため、1回の選挙に変更する等の具体案が提案され、関連する規約等を改訂することが承認されました。改訂の詳細は支部ホームページ(<http://www.elsj.org/chu-shi/>)をご覧ください。

◎ 支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2018年度の第71回大会は、10月27日(土)・28日(日)の両日、鳥取大学(鳥取市)で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(必着)です。たくさんのご応募をお待ちしております。

◎ 学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第15号(英文学研究支部統合号第11号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://www.elsj.org/chu-shi/studies.html>)をご覧ください。

(文責 榎田一路)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第70回大会が2017年10月21日(土)、22日(日)の両日に長崎大学にて開催されました。大会の運営に多大のご支援をいただいた、稲田俊明、廣江顕、谷川晋一諸先生方をはじめとする関係者、及び、学生の皆様に心よりお礼を申し上げます。

◎2017年度第2回支部編集委員会が2017年10月21日(土)に開催されました。その後、支部評議員会・理事会の合同会議が開かれました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。詳細な議事録は支部ホームページに掲載されています。

《編集委員会》

1. 『九州英文学研究』第33号(支部統合号Vol. IX)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第34号(支部統合号Vol. X)について
3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について
 - ・九州支部学会賞の基準に沿って審議した結果、今回は「優秀論文賞」「奨励賞」とともに該当者なしとなった。
4. 委員の交代(退任)について
 - ・英語学分野の登田龍彦委員より、本務校でのご退職に伴い、委員を本年度で退任したいとの意向が出された。後任の委員については、英語学分野で候補者を選考・推薦し、委員会で承認することとなった。
5. 「招待発表者」ならびに懲憑について
 - ・招待発表者については発表内容を確認の後、懲憑論文としての投稿を事務局より依頼する。
 - ・大会の一般発表者についても、編集委員より広く論文投稿を促すこととする。
6. 支部大会統合プロシーディングズについて
7. 来年度の支部大会について
 - ・2018年度支部大会は、九州女子大学(評議員:中島久代氏)で開催予定。なお、

九州女子大学と同一組織・同一敷地内の九州共立大学の先生方にもご協力いただくことになっている。

《評議員会・理事会》

1. 活動報告
2. 会計報告
 - ・秋好事務局長より、平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)支部会計報告が行われ、監査の古賀恵介氏(福岡大学教授)(園田暁子評議員(福岡大学教授)の代理出席)から確認の報告があった。
 - ・秋好事務局長より、平成29年度会計の中間報告、ならびに平成30年度予算案が提案され、承認された。
3. 統合号出版経費負担について
4. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
5. 支部理事投票手続きについて
6. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について
 - ・全国大会は東京女子大学、支部大会は九州女子大学にて開催されることが報告された。
7. 評議員名、理事名、編集委員名の確認
 - ・九州支部ホームページ・アドレス
<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>
(文責 秋好礼子)